

株式会社サンエテック

磁気ヘッド・磁気センサの研究開発型メーカー



駅務機器磁気ヘッド（上段左）、磁歪式トルクセンサ（上段右）、磁気式スペースセンサ（下段左）、磁気式リニアセンサ（下段中）、通過計数センサ（下段右）

オンライン技術

業務内容

磁気ヘッド・磁気センサに特化した開発を進める

昭和31年に創業して以来、磁気ヘッド・磁気センサのパイオニア企業として第一線を走り続けてきたサンエテック。当初はテープレコーダー用録音ヘッドの製造・販売からスタートし、時代と共に産業用分野の研究開発にも進出。昭和40年代に初めて駅に設置された自動改札機の中には、同社製の磁気ヘッドが使用された。

以後、券売機や精算等の駅務機器、銀行のATM、クレジットカードリーダー等、情報化・省力化時代の到来と共に数多くの技術貢献を果たしてきた。昭和50年代後半からは磁気ヘッドの原理を活かして磁気センサの開発に着手。磁気式変位センサの分野においても、革新的な商品は多い。

強み

社会のニーズを捉えた新たな商品も発表

近年では磁気センサの技術開発に重点を置いている同社。昇降機の微小荷重検知に使用される「アンプ内蔵磁気式スペースセンサ」や、業界初のアモルファス溶射技術を取り入れた高感度・高速応答の「磁歪式回転トルクセンサ」等の商品が大きな話題となった。

企業理念である「社会への貢献」をキーワードに、



新開発の磁歪式回転トルクセンサ

生産環境

品質維持の秘訣は技術力と責任感

「当社の競合は、量産化が可能な大企業がほとんど。差別化を図るためには高い品質と技術開発力が必要です」と話す蒲田社長。特に人命やセキュリティ保護に関わる場合が多い商品だからこそ、不良品ゼロが当然のように求められるという。そのため、製造を行う奈良工場では、各工程間に綿密なチェック作業を組み込み、品質管理の徹底に余念がない。

「従業員に責任感を持っていただくため、全員を正社員登用しています。また品質担保のためには、清潔で整頓された職場環境づくりが不可欠です。3S活動には全員で取り組んでいます」と蒲田社長。

大切な工程はベテラン職人の高度な手作業で行う等、品質を第一にしたライン設計が行われている。

今後の展望

自然エネルギー等他分野への参入も検討

特に磁気センサの開発を進めている同社では、公的機関や企業等との共同開発を通し、新機軸への参入も模索中だ。

例えば、風力発電装置等の自然エネルギー分野や生産検査設備、工作・工用機械等に、同社の磁気センサ技術が応用できる可能性があるという。あくまで、磁気技術にこだわり、新たな可能性を模索する同社。小さな実力派企業の次なる一手に期待したい。

COMPANY PROFILE

株式会社サンエテック

大阪24

ISO 14001



当社の発足は57年前。現会長の廣津英夫が個人営業で、テープレコーダー用録音磁気ヘッドの製造・販売を開始したことにさかのぼります。以来、磁気ヘッド・磁気センサだけを追究してここまでやって来ました。私で3代目になりますが、現会長の意志を引き継ぎ「磁気」への思いを常に持ち、今後も磁気関連商品から軸足を外すことなく、歩を進めます。

自社の商品をどこまで大事にできるか。それが生命線です。

代表取締役社長 蒲田 繁夫さん



■主な事業内容

産業用・民生用各種磁気ヘッド及び磁気センサの開発・製造・販売等

■主な取引先（納入先）

鉄道関連メーカー、産業機械メーカー等

住所／〒543-0054
大阪市天王寺区
南河堀町4-71
TEL／06-6779-1591
FAX／06-6779-1596
創業／昭和31年4月
設立／昭和37年4月
資本金／8,360万円
従業員／60名

<http://www.san-e.co.jp/>